

3M™ インク 885N

Product Bulletin インク 885N

2014年9月

I. 概 説

インク 885N は、従来のインクと比較すると乾燥が速く、貼付け前のシート及び貼付け後の反射シートに印刷が可能です。

3M™ エンジニアリングEGP普通反射シート2430・3430シリーズ及び3M™ ハイ・インテンシティグレードHIP高輝度反射シート2930・3930及び3M™ ダイヤモンドグレード3M™ DG³超高輝度反射シート2090・4090の各シリーズに使用できます。

II. 印 刷

A. 準備

- ①スクリーンは、メッシュ157を使用して下さい。
- ②印刷作業に入る前に、印刷室、乾燥オープンの清掃を十分に行ってください。
- ③オフ・コンタクト・スクリーン印刷方法で印刷して下さい。ダイレクト・コンタクト・スクリーン印刷方法で印刷しますと、塗膜が不均一になり、部分的に印刷ムラなどが発生します。

※シートに反りがある場合は、自然乾燥時にインククラックが発生する場合があります。

B. 印刷可能面積

通常メッシュ 157使用時で20～25㎡/ℓです。
インクの希釈量、印刷条件によりかわります。

C. 希釈及び洗浄

- ①インク885Nの希釈には、711シンナーを使用して下さい。
- ②スクリーンの洗浄には、下記の溶剤を使用して下さい。
 - a.キシロール：メチルエチルケント=4：1
 - b.キシロール
 - c. 711シンナー

※シンナー 891で希釈した場合は、自然乾燥時にインククラックが発生する場合があります。

※通常粘度は回転粘度計で1,000cPs～1,200cPsの範囲が適当です。(室温)

D. 乾燥

①自然乾燥

a.印刷したシートは、十分に通風乾燥ができるように、印刷したシート間隔を最低5cmなしラックに置いて下さい。又ラックは通風が十分にゆきわたるように、ラックまわりの障害物がない状態にして下さい。

b.乾燥中は必ずファンなどを使用し通風乾燥して下さい。

c.乾燥時間は、約3時間(温度16～38℃、湿度20～50%)必要です。これより低温又は高湿度のときは乾燥時間が長くなります。

②バッチオープン乾燥

印刷したシートは、自然乾燥10分後、41℃オープンで30分必要です。

③コンベア式オープン乾燥

印刷したシートは、乾燥温度54℃で2分必要です。

E. 梱包

印刷されたシートは、スリップシートの光沢のある面と印刷面を合せて表面を保護してください。梱包後水濡れのないように保管して下さい。

F. 保管

乾燥した冷暗所に保管し、購入後1年以内に使用して下さい。

※インク885Nの場合、クリヤコーティングは必要ありません。

販売の条件について

ここに記載してある技術情報は、全てそれが絶対的に正確若しくは完全であるとは、必ずしももうしませんが当社が信頼している実験に基づいているものであります。また、記載内容については予告なく変更することがありますので予めご了承ください。

売主は次のことだけしか保証致しかねますのでご了承ください。

売主の義務は不良であることが証明された製品をお取替えすることだけでありまして、製品のお取り扱いの不手際からくる障害又は損傷については責任を負いかねます。ご使用になる前に、それが初期の用途に適合するかどうかをお確かめください。

3M、ダイヤモンドグレードは3M社の商標です。

3M

3M Japan Group

スリーエム ジャパン株式会社

トラフィック セーフティ・セキュリティ事業部

本社 141-8684 東京都品川区北品川6-7-29 TEL:03-6409-3387

<http://www.mmm.co.jp/ref/>

カスタマーコールセンター

製品についてのお問い合わせはナビダイヤルで

 **0570-012-123**

ナビダイヤル[®] 市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間/8:45 ~17:15 月~金(土・日・祝・年末年始は除く)